



地域での理解啓発活動

当会が活動拠点としている東京都大田区の市民活動団体や関係者の連携団体「障害者理解啓発グループおおた〜ツタエルチカラ〜」の主催で、映画上映&トークイベントが行われました。ドキュメンタリー映画『生きて、生きて、生きる。』の鑑賞の後、福島県相馬市にある「メンタルクリニックなごみ」院長の蟻塚亮二さん、南相馬のピアスタッフ清水浩行さん、監督の島田陽磨さんをゲストに迎えたトークイベントを実施。140名を越える来場があり大変盛況でした。(2025.2 東京都)

当事者交流「お話会」

精神障害のある人を対象にした「お話会」を月例で開催しています。少人数の当事者同士だからこそ安心と共感ができる場にあなたも参加しませんか？

普段なかなか、言いにくいようなこと、時には日頃感じる思いを言葉に紡ぐ場となっています。その場での言いつばなしもOKです。「また来たい!とみんなが思える場に。」

仲間の時間と気持ちを大切にしたいだけの方の参加を歓迎します。参加費は無料です。

取り組みの様子はホームページに記事を掲載しています。

実施日など企画の詳細についてはお問い合わせください。



家族会学習会への協力

精神障害当事者会ポルケでは、様々な人たちの学びづくりにご協力をしています。2025年1月は精神障害のある家族の学びに関係する取り組みにいくつかご協力する機会をいただきました。当事者にとって家族との関係は時には近いからこそ難しい複雑なものになることもあります。当事者の置かれている状況や思いについて深く理解をしてもらいたいという思いもあるところです。経験にふれながら、より良いありかたを一緒に考えることの大切さを私たちも改めて学ばせていただきました。

東京都品川区荏原保健センターにて開催された精神保健家族勉強会での講演会では、当事者活動の取り組みも含めて話題提供をさせていただきました。参加者の方々からは、「経験談に基づく話が大変参考になった」、「制度や法律など広い視野での話が勉強になった」といった感想が多く寄せられたようです。

千葉県市川市にある家族会松の木会主催の学習会では、昨年のおもなねっとフォーラムの登壇のご縁からお声がけいただきました。

「当事者の意思決定に、家族・支援者ができること〜医師、当事者、家族、支援事業所の立場から〜」と題した講座で話題提供の機会をいただきました。自由な対話を通じて、意思決定の大切さや難しさに触れながら、あるべきありかたを共に学ぶ機会となりました。

ご家族の方からは親亡き後問題にふれてご質問をいただきました。地域生活の中で障害福祉サービスや訪問看護など公的支援を活用した暮らしのデザインをしていくこともとても大切なことです。サービス利用の経験などももっと広くお伝えしていきたいと思えます。



リカバリーカレッジふくおか講座に協力

精神障害当事者会ポルケでは、各地のリカバリーカレッジの取り組みにご協力させていただいています。2025年1月はリカバリーカレッジふくおか主催する企画「当事者としての目覚め」と題した講座にて、代表理事の山田悠平と理事の相良真央が登壇の機会をいただきました。

それぞれの経験を踏まえながら病気や障害とされるものの向き合い方の変化に触れながら、当事者活動を通じて大切にしている思いなどをお話させていただきました。沸々とした沸き立つ思いに駆られ当事者活動をはじめたわけですが、活動をしながらかげられたり、より言葉になってきている思いもあります。取り組みを通じた現在進行形の”目覚め”をもとに参加のみなさんと学びを分かち合いました。



前米国国立メンタルヘルス研究所所長 ジョシュア・ゴードン氏らとの懇談会に参加

笹川平和財団からお声がけいただき、2025年1月に来日されていたジョシュア・ゴードンコロビア大学教授・前米国国立メンタルヘルス研究所所長との懇談会に参加する機会をいただきました。私たちからは当事者活動の取り組みなどをお伝えさせていただきました。スティグマの問題については国境を越える課題です。国や立場を越えて取り組む必要性を改めて意識しました。



大田区区民協働支援施設にて防災ワークショップ

精神障害当事者会ポルケが活動を拠点としている大田区にある大田区区民協働支援施設こらぼ大森にて当代表理事の山田悠平がファシリテーターを務めました。

障害当事者や家族、支援職、行政、議員など様々なお立場からのご参加があり、好評の声を多数いただきました。

なお、2022年度より国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所と協働し、精神障害領域の障害インクルーシブ防災行動に関する研究調査と社会実装に向けた「DIARYプロジェクト」(Disability Inclusive Action and Disaster Risk Reduction survey)の報告書が近日公開予定です。どうぞご注目ください。



『こころの科学』(240号)



『こころの科学 (日本評論社)』
240号に当代表理事の山田が「統合失調症をめぐるアウトカムはどのように変わるのか」と題して寄稿しました。

本号の創刊40周年を記念した特別企画「みんなで考えた統合失調症の未来」では、当事者や家族や医師、研究者など多様な立場から様々な角度からのこれからの”未来”が書かれています。どうぞお手にお取りください。

ネットワーク会員 入会募集中!

- ◎年会費◎
- ・個人会員 3,000円
- ・法人団体会員 1口5,000円から

- ◎お振込み先◎
- ・ゆうちょ銀行
- 種類: 普通
- 名義: シャッセイソウカ イノウェ シャカイノケ
- 記号: 11390 番号: 00258321
- ・ゆうちょ銀行以外からのお振り込み
- 店名: 一三八 口座番号: 0025832

団体連絡先(発行者)

mail in.porque@gmail.com
web https://porque.tokyo/

一般社団法人精神障害当事者会ポルケ
代表理事 山田悠平

QRコードから団体HPにアクセスできます

